

## 第2章 地域の概要

### 第1節 人口

本市における平成9年度から平成18年度までの人口動態の推移を表2-1-1及び図2-1-1に示します。

平成9年度以降、五泉地区、村松地区の人口とも緩やかな減少傾向を示しており、五泉市全体の人口は過去10年間で3,000人程度減少しています。

表2-1-1 人口動態の推移

単位：人

	五泉地区	村松地区	五泉市全体
平成9年度	39,459	21,327	60,786
平成10年度	39,346	21,260	60,606
平成11年度	39,217	21,122	60,339
平成12年度	39,058	20,967	60,025
平成13年度	38,872	20,855	59,727
平成14年度	38,659	20,730	59,389
平成15年度	38,538	20,625	59,163
平成16年度	38,333	20,371	58,704
平成17年度	38,086	20,076	58,162
平成18年度	37,884	19,797	57,681

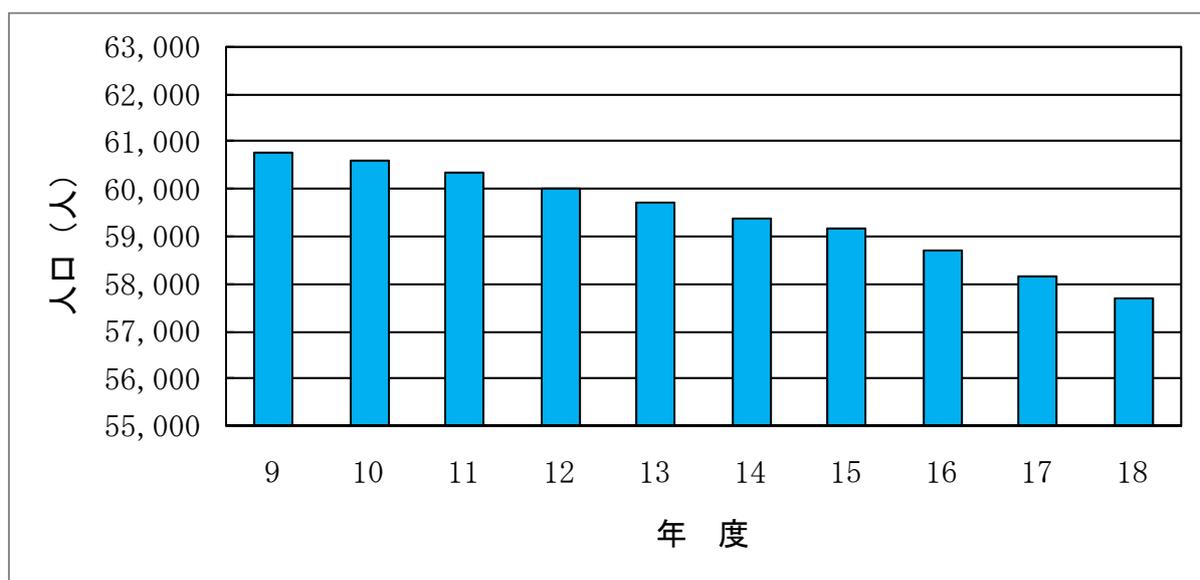


図2-1-1 人口動態の推移

## 第2節 市街地・集落の動向

本市は、平成18年1月1日に隣り合う2つの市町（旧五泉市と旧村松町）が合併して誕生しました。

新潟県のほぼ中央部に位置し、山紫水明 緑豊かな山々と清流に包まれた肥沃な大地から豊かな実りがもたらされる本市では、米はもちろんのこと、サトイモ・レンコン・イチゴ・キウイフルーツ・クリ・ギンナン・養殖鯉など数多くの特産物を出荷する食料生産地です。また、伝統と歴史を持つ絹織物産業と戦後目覚ましい発展を遂げたニット産業は、全国的な生産地となっています。

## 第3節 地理的、地形的特性

本市の地形は急峻な山岳地と平坦な平野部に大別され、平野では阿賀野川と早出川の河道の変遷により、複雑な地盤構成となっています。

地質構成は中・古生代から新生代までの様々な時代の地層と多種多様な種類の岩石が見られ、このような地質多様性が現在の変化に富んだ地形と豊かな植生を形成しています。

#### 第4節 気候的特性

裏日本特有の積雪寒冷地帯に属し、年間を通じて曇天がちとなっています。冬期は雪を伴った季節風が強く吹き、寒い日が2月下旬まで続きます。また、阿賀野川沿いに吹き下ろす“だしの風”と言われる名物的な風が吹く、特異的な気象状況を有しています。

ここで、本市における気象状況を表2-4-1に示します。

表2-4-1 五泉地区における気象状況

	気 温			平均湿度 (%)	降 雨 量		平均風速 (m/s)	最大風速 (m/s)	最多風向	
	平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)		総量 (mm)	日最大 (mm)				
平成15年	14.4	36.2	-6.3	75.2	2,271.5	112.0	3.1	29.8	東	
平成16年	13.4	35.7	-4.6	76.3	2,202.0	102.5	2.9	43.4	東	
平成17年	13.6	36.4	-5.7	75.8	2,244.5	111.5	3.1	59.4	東	
平成18年	14.0	37.0	-3.0	74.5	2,012.5	81.5	2.8	48.4	南	
月 別	1月	3.9	11.0	-1.3	79.3	120.0	28.0	2.6	23.9	南
	2月	4.3	14.6	-3.0	73.5	101.5	29.0	3.0	24.9	南
	3月	5.4	18.1	-2.2	73.9	123.5	21.5	3.3	24.3	南
	4月	10.5	26.1	1.0	69.1	91.5	56.0	2.8	27.2	南南西
	5月	17.0	28.6	7.0	67.4	98.0	25.5	3.3	21.8	南南西
	6月	21.8	31.4	12.9	73.6	280.0	81.5	2.3	17.2	東
	7月	23.0	30.6	16.8	79.5	151.0	24.0	2.7	25.2	東
	8月	27.0	37.0	17.5	73.0	162.0	34.5	2.3	21.4	東
	9月	24.5	35.1	15.6	72.9	70.0	21.0	3.3	21.4	東
	10月	16.0	26.1	7.6	73.8	176.5	47.0	2.5	19.9	南
	11月	9.3	19.9	-0.2	76.6	264.0	58.5	2.6	48.4	南
	12月	5.3	13.8	-0.5	81.7	374.5	46.0	2.8	20.5	南

資料：消防年報

## 第5節 産業の動向

### 1. 産業別就業人口

本市における産業別就業人口を表2-5-1に示します。

本市においては、第3次産業に従事している人が多く、続いて第2次産業、第1次産業と続いています。また、分類別で見ると製造業、卸売・小売業、建設業に従事している人が多くなっています。このことより、本市は製造・販売を主体とした工業都市であることがわかります。

表2-5-1 産業別就業人口

単位：人

	平成7年			平成12年			平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	31,960	17,994	13,966	29,886	16,735	13,151	28,538	16,016	12,522
第1次産業	3,320	1,962	1,358	2,867	1,606	1,261	2,735	1,561	1,174
農業	3,276	1,930	1,346	2,829	1,577	1,252	2,724	1,553	1,171
林業	28	24	4	29	23	6	3	3	0
漁業	16	8	8	9	6	3	8	5	3
第2次産業	14,684	8,512	6,172	12,851	7,823	5,028	11,178	7,100	4,078
鉱業	152	124	28	134	114	20	84	72	12
建設業	4,358	3,837	521	4,199	3,726	473	3,718	3,324	394
製造業	10,174	4,551	5,623	8,518	3,983	4,535	7,376	3,704	3,672
第3次産業	13,946	7,515	6,431	14,139	7,289	6,850	14,367	7,203	7,164
電気・ガス・水道業	176	145	31	121	103	18	85	72	13
情報通信業							187	134	53
運輸業	1,424	1,253	171	1,397	1,217	180	1,191	1,063	128
卸売・小売業							4,232	2,057	2,175
飲食店・宿泊業	5,436	2,782	2,654	5,404	2,654	2,750	958	395	563
金融・保険業	497	214	283	465	196	269	395	153	242
不動産業	74	37	37	57	35	22	80	46	34
医療・福祉							2,350	497	1,853
教育・学習支援業							783	339	444
複合サービス事業							372	265	107
サービス業							3,086	1,700	1,386
公務	680	537	143	644	500	144	648	482	166
分類不能産業	10	5	5	29	17	12	258	152	106

資料：国勢調査より

## 2. 農 業

本市の農業は、農家数及び農家人口については高齢化や後継者不足により全体的に減少傾向を示していますが、耕地面積及び農業産出額についてはほぼ横ばいにて推移しています。

本市における農家数を表2-5-2に、農家人口を表2-5-3に、耕地面積を表2-5-4に、農業産出額を表2-5-5に示します。

表2-5-2 農 家 数

単位：戸

	総 数	専 業 農 家	第 1 種 兼 業	第 2 種 兼 業	自 給 的 農 家
平成6年度	2,992	162	676	2,154	318
平成11年度	2,748	209	504	2,035	303
平成16年度	2,487	261	522	1,704	386

資料：新潟県統計年鑑より

表2-5-3 農 家 人 口

単位：人

	総 数	男	女
平成6年度	17,088	8,330	8,758
平成11年度	15,643	7,707	7,936
平成16年度	12,380	6,102	6,278

資料：新潟県統計年鑑より

表2-5-4 耕 地 面 積

単位：ha

	耕地面積	田	畑	樹園地
平成14年度	5,304	4,830	367	107
平成15年度	—	—	—	—
平成16年度	5,256	4,790	363	103
平成17年度	5,248	4,780	365	103
平成18年度	5,240	4,760	377	103

資料：新潟県統計年鑑より

表 2 - 5 - 5 農業産出額

単位：百万円

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
耕 作 物	米	5,839	5,595	5,694	6,515	5,550
	麦・雑穀・豆類	56	39	51	50	32
	いも類	62	60	46	50	46
	野菜	1,213	1,332	1,342	1,297	1,361
	果実	121	106	124	107	102
	花卉	534	511	531	436	369
	工芸農作物	0	0	0	0	0
	種苗・苗木等	16	20	25	22	26
	小計	7,841	7,663	7,813	8,477	7,486
	畜 産 物	肉用牛	x	x	x	x
乳用牛	442	441	447	470	428	
豚	x	x	x	x	x	
鶏	x	x	x	x	x	
その他畜産	0	x	0	0	0	
小計	930	939	938	904	804	
加工農作物		0	0	0	0	0
合計		8,771	8,602	8,751	9,381	8,290

資料：新潟県統計年鑑より

### 3. 工 業

本市における製造業の事業所数、従業者数及び製造品出荷額を表 2 - 5 - 6 に示します。

統計の取り方を変更した平成 14 年度以降においては、事業者数及びは緩やかに減少しているものの、従業者数及び製造品出荷額は多少増加した年度はあるものの、全体的には緩やかな減少傾向を示しています。

表 2 - 5 - 6 製造業の事業所数、従業者数及び製造品出荷額

	事業所数 (店)	従業者数 (数)	製造品出荷額 (百万円)
平成13年度	383	6,799	97,288
平成14年度	184	6,015	91,896
平成15年度	177	6,094	90,478
平成16年度	164	5,891	93,918
平成17年度	161	5,703	86,074

資料：新潟県統計年鑑より

#### 4. 商 業

本市における商店数、従業者数及び年間商品販売額を表2-5-7に示します。

商店数は増減を繰り返しながら全体的に減少傾向を示しているものの、従業者数はそれほど大きな変化を示していません。しかし、年間商品販売額は減少傾向を示しており、平成16年度の年間商品販売額は平成6年度の半分以下となってしまいました。

表2-5-7 商店数、従業者数及び年間商品販売額

	商店数 (店)	従業者数 (数)	年間商品販売額 (百万円)
平成6年度	961	4,590	226,354
平成9年度	867	4,114	140,899
平成11年度	897	4,342	127,450
平成14年度	851	4,423	95,005
平成16年度	792	4,058	95,592

資料：新潟県統計年鑑より

## 第 6 節 土地利用状況

平成 18 年における本市の土地利用状況を表 2 - 6 - 1 及び図 2 - 6 - 1 に示します。

雑種地その他を除くと田と山林の占める割合が最も多く、次に宅地、畑と続いています。

表 2 - 6 - 1 土地利用状況

地 目	面積(ha)	割合(%)
田	4,739.52	13.47
畑	1,034.03	2.94
宅 地	1,299.85	3.69
山 林	17,570.81	49.94
池 沼	14.92	0.04
原 野	142.41	0.40
雑種地その他	10,385.46	29.52
計	35,187.00	100.0

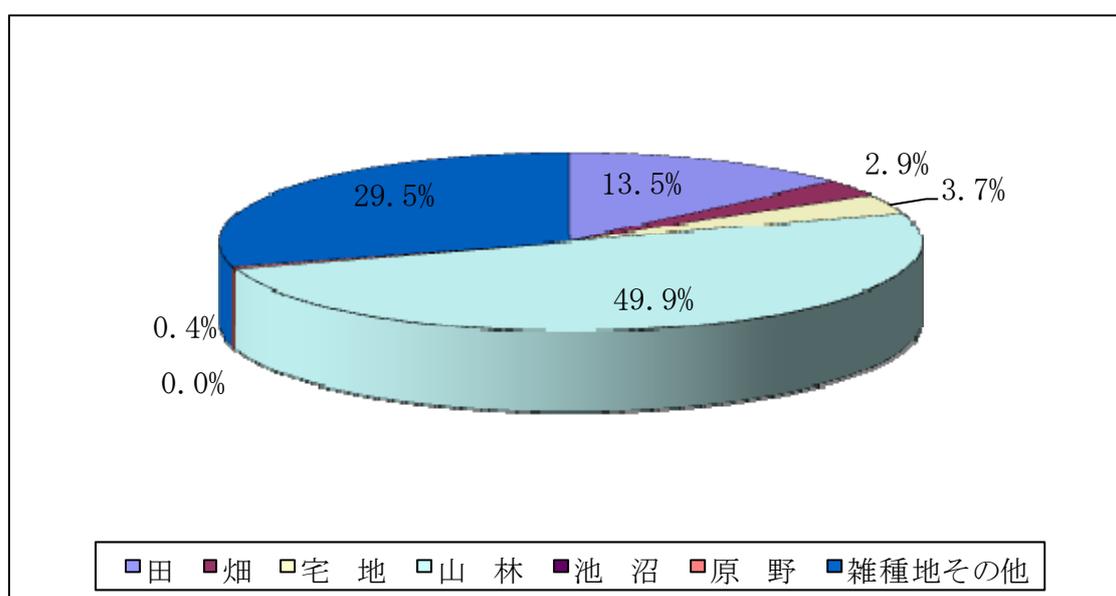


図 2 - 6 - 1 土地利用割合